

現在、ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん予防)の 定期接種を積極的にはお勧めしていません。

厚生労働省から通知(平成 25 年 6 月 14 日付け)があり、ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん予防)の定期接種の接種後に、因果関係を否定できない痛みが特異的に見られていることから、この副反応の発生頻度などを詳しく調査して、適切な情報提供ができるまでの間、積極的にはお勧めをしていない状況です。

なお、希望者は定期接種として接種可能です。その際は、ワクチンの有効性とリスクについて理解した上で接種を受けるようにしてください。接種対象者などは、下記をご覧ください。

厚生労働省

- ◆HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン相談窓口
- ◆子宮けいがん予防ワクチンを受けるみなさんへ(リーフレット)
- ◆子宮頸がん予防ワクチンを接種するお子様の保護者の方へ(リーフレット)
- ◆厚生労働省「子宮頸ガン予防ワクチンに関する Q&A」
- ◆「厚生労働省(平成 25 年 6 月 14 日)厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会」のページ

徳島県

- ◆ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に症状が生じた方に対する相談窓口の設置について

☆子宮頸がんとは

子宮頸がんは、発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの持続的な感染が原因となって発症します。性交経験がある女性であれば誰でも感染する可能性があります。

100 種類以上の遺伝子型がある HPV の中で、とくに発がん性が高いタイプ(16 型、18 型)の感染が問題となります。近年、20~40 歳代で増加傾向にあり、子宮頸がんの約 50~70%は、HPV16、18 型感染が原因とされています。

その他、生殖器にできる良性のイボである尖圭コンジローマの原因となることが分かっています。

☆接種対象者

平成 28年度対象者	学年
平成 12 年 4 月 2 日~平成 13 年 4 月 1 日	高校 1 年
平成 13 年 4 月 2 日~平成 14 年 4 月 1 日	中学 3 年
平成 14 年 4 月 2 日~平成 15 年 4 月 1 日	中学 2 年
新規対象者 平成 15 年 4 月 2 日~平成 16 年 4 月 1 日	中学 1 年

※国が定める標準的な接種期間は、中学 1 年生の 1 年間です。

☆接種回数:同じワクチンを6カ月間で計3回接種します。(下表にて接種スケジュールを確認してください。)

☆接種できるワクチンの種類:下記の2種類があります。

ワクチン名	対象となるHPVのタイプ	接種スケジュール
2価ワクチン (サーバリックス)	16型、18型 (主に子宮頸がんの原因)	1回目接種の1月後に2回目を接種し、1回目から6月後に3回目を接種。 上記接種間隔で接種できなかった場合は、1回目から1月以上の間隔をおいて2回目を接種し、1回目から5月以上、かつ2回目から2月半以上の間隔をおいて3回目を接種することもできます。
4価ワクチン (ガーダシル)	16型、18型 (主に子宮頸がんの原因) 6型、11型 (主に尖圭コンジローマの原因)	1回目を接種してから2月後に2回目を接種し、1回目から6月後に3回目を接種。 上記接種間隔で接種できなかった場合は、1回目から1月以上の間隔をおいて2回目を接種し、2回目の接種から3月以上の間隔をおいて3回目を接種することもできます。

☆ 予防接種の副反応

予防接種により、軽い副反応がみられることがあります。また、極めてまれですが、重い副反応がおこることがあります。

主な副反応は、軽度の発熱や局所反応(痛み、発赤、腫れ)です。まれに報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様症状(ショック症状、じんましん、呼吸困難など)、ギラン・バレー症候群、血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血など)、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)等が報告されています。

☆ 接種後の注意

ワクチン接種後、注射部位が腫れたり痛みのあることがあります。また、注射による痛みや心因性の反応等による失神などの副反応が現れることがありますので、接種後30分位は接種した医療機関で背もたれのあるソファに座るなど安静にし、様子を見るようにしてください。

☆ 接種費用

無料(ただし、接種対象年齢内で、接種日に吉野川市に住民登録のある人)

☆ 接種場所

吉野川市定期予防接種指定医療機関、徳島県内広域化医療機関

☆ 子宮頸がん検診も受けましょう

ワクチンを接種しても、全ての発ガン性のあるHPVによる病変が防げるわけではないので、子宮頸がん検診を受けることも必要です。20歳を過ぎたら、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。